

ホップの収穫最盛期



トラクター設置のはしごに乗り収穫

特用作物でビールの原料となるホップの収穫作業を中山地区の並松ホップに取材（8月19日）させていただきました。

ホップは「つる性」の植物で棚に枝を伸ばし、花（雌花で毬花と呼ばれる）をつけ、棚より収穫、花を機械でもぎ取り、選別、乾燥、1トンプックに詰めて出荷となります。

事故なく、心配な「風害」がなく収穫作業が終了しました。

ホップはビールに、苦み・香りをつける、泡持ちを良くする、殺菌効果が高める、ビールの腐敗を防ぐ等効果があるとのことでした。



選別作業



収穫したホップを摘果機へ（花と枝の選別）



乾燥したホップを収納



乾燥機で乾燥中

紅花の集荷

8月24日午後から山形市の大内紅花生産組合連合会長宅で紅花加工品の品質検査が行われました。

県全体で去年より3割ほど多く約250kg（白鷹産約146kg）《速報値》の紅花が集荷されました。7月16日、萩野で取材させていただきました。



水洗いし、発酵した紅花を餅つき機で潰しています



丸く調整した紅餅乾燥中（美しいです）



潰した紅花をだんご状にまるめ、均一になるように調整します



乱花検品（山形市）



紅餅検品（山形市）



8月26日（木）「白鷹山関化粧まわしお披露目式」が中央公民館町民ラウンジで行われました。
 白鷹山関は出席できませんでしたが、母親妙子さんに目録が贈呈されました。
 化粧まわしは四股名の白鷹山、白鷹町の「鷹」と「紅花」の刺繍で、特に紅花は白鷹町の生産の紅餅、中山桂清水の名水を使い、小松織物展で染めた糸を使って作られております。



鷹山地区コミュニティセンター 建設委員会の最終検討内容

第5回鷹山地区コミュニティセンター建設委員会を8月20日(金)開催し、基本構想策定(案)を決定しました。

外観部分の検討を行い、南西に建設し、切妻作りとすればシンプルでメンテナンスがしやすいのではないかと決定しました。

建設位置、平面図は前回検討した内容と同じです。

建物外観の色彩、平面図の机、備品の配置はイメージで、これから検討する必要があります。

鷹山地区コミュニティセンター外観部分 (案)



鷹山地区コミュニティセンター平面図 (案)





自分で自身の身体を整えよう

コンディショニング ストレッチ教室

10月4日(月)・10月18日(月)
午前10時～午前11時30分



9月

ご案内とお知らせ

お申込み・お問い合わせは
鷹山地区コミュニティセンター
電話 87-2502
FAX 87-2509

～みんなでご飯を食べる時間～

野菜の台所 (限定20食)

- ♪日 時 9月24日(金) 正午～
- ♪場 所 鷹山地区コミュニティセンター
- ♪会 費 500円
- ♪対 象 鷹山地区にお住まいの方
- ♪申込み 9月21日(火)まで



8月の野菜の台所のメニュー

- ・蒸し鶏・夏野菜のグラタン・空芯菜炒め
- ・蕨干煮・干し野菜の漬物・夏野菜の春巻き
- ・イルカ汁・ご飯・ぶどう(銀嶺)



【駐在所からのお願い】

キノコ採りに伴う事故防止について

●遭難しないための心掛け

- 慣れた山でも家族等に行き先を必ず告げて、複数名で入山する
- 携帯電話を持って行き、GPS機能を有効にする。
- 道に迷ったら来た道に戻り、分からなければ見晴らしの良い場所で救助を要請する。
- 急斜面は滑落しやすいので、ヘルメットや命綱を使用する。
- 食料や水のほか、天候の急変に備えて雨具を準備する。
- クマ鈴、ホイッスル(警笛)、ラジオ等を携帯する。



携帯ラジオ



携帯バッテリー



クマ鈴

長井警察署 84-0110
白鷹東駐在所 85-2046

【白鷹東駐在所からのお知らせ】

秋の交通安全県民運動

- 実施期間 9月21日～9月30日
※交通事故死ゼロを目指す日

■運動の重点

- 1 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- 2 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者の保護など安全運動意識の向上
- 3 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
- 4 飲酒運転等の悪質・危険な運転の撲滅

事故防止のポイント

ドライバーの方へ

早めのライト点灯とハイビーム活用
で歩行者をいち早く発見

歩行者の方へ

夜の外出はなるべく控えましょう！
やむを得ず外出する際は、明るい服装、
夜光反射材を着用しましょう。



【放課後子ども教室より】 8月10日(火) 旧鷹山小学校体育館

ボッチャ体験をしました。

白い目標球(ジャックボール)に、自分のチームのボールを近づけて得点を競う。

白鷹町スポーツ推進委員の方からルール説明をお聞きして直ぐに競技にはいりましたが、子ども達はこつを覚えるのが早く、大量の得点を出していました。真剣な顔と笑顔があふれ、楽しい時間となりました。

パラリンピックの競技にも
ありました。障害者の方も
健常者の方も一緒に楽しめる
スポーツです

